
[SP 改]

リスト フィールド デザイナー

FOR SHAREPOINT 2016

ユーザーマニュアル

1.0 版 2016 年 12 月 16 日

株式会社アンク



目次

概要	2
リスト フィールド デザイナーの設定	3
数値系列の表示変更の設定	4
ユーザー列の表示変更の設定	5
繰り返し列の設定	8
選択枝系列の表示変更	25
参照系列の設定	29
リスト フィールド デザイナーの設定手順例	37
数値系列の表示変更の設定手順例	37
ユーザー列の表示変更の設定手順例	37
繰り返し列の設定手順例	39
選択枝系列の表示変更の設定手順例	48
参照系列の設定手順例	51
繰り返し列のスタイル設定について	57
リスト フィールド デザイナーをエクスポート	60
リスト フィールド デザイナーをインポート	61
インポート時の制限事項	62
リストテンプレート	64
制限事項	65
試用版について	66

概要

リスト フィールド デザイナーは、特定の種類の列の表示フォーマットを変更したり、動作を追加することができる機能です。

数値列系およびユーザー列の表示フォーマットの変更が可能です。

また、複数行テキスト列を「繰り返し列」に変換し、動作を追加できます。

リスト フィールド デザイナーの設定

リスト フィールド デザイナー機能を設定する手順は、次の通りです。

リストの設定画面で、[全般設定] の [[SP改]リスト フィールド デザイナー設定] をクリックします。

全般設定

- リスト名、説明、ナビゲーションの列挙
- バージョン設定
- 詳細設定
- 検証の設定
- 対象ユーザーの設定
- [SP改]リスト フィールド デザイナー設定**
- 評価の設定
- フォームの設定

リスト フィールド デザイナーの設定画面が表示されます。

[リスト フィールド デザイナー機能の有効化]

[このリストでリスト フィールド デザイナーを有効にする] チェックボックスをオンにすると、詳細設定欄が表示されます。

設定 > [SP改]リスト フィールド デザイナー [ヘルプ](#)

リスト フィールド デザイナー機能の有効化
リスト フィールド デザイナー機能を有効化すると、リストのフィールド動作や表示を変更することができます。 ☒ このリストでリスト フィールド デザイナーを有効にする

■ 数値系列の表示変更
表示フォームとビューでの表示が変更されます。

列	設定
合計 (税込)	☐ このフィールドの値がマイナス値の場合、赤字で表示 ☐ このフィールドの値がマイナス値の場合、▲で表示 ☒ このフィールドの値がマイナス値の場合、マイナス(-)で表示 ☒ このフィールドの値をカン(,)で区切って表示

■ ユーザー列の表示変更
表示フォームとビューでの表示が変更されます。
ユーザー列の表示を変更します。([ユーザーのみ]が選択されている場合に限り。)
指定されたライブラリ上の[ドメイン_アカウント名_拡張子]画像が表示されます。
例えば、ユーザーアカウントに対応した印刷画像を表示したい場合に使用します。

列	設定
印鑑	☐ このフィールドで表示変更を有効にする

■ 繰り返し列の設定
複数行テキストを繰り返し列に変更します。(種類は、[書式なし(テキスト)]
新規フォーム、表示フォーム、編集フォーム、ビューでの表示が変更されます。
スタイル設定(CSSファイルのURL):

列	設定
内訳	☐ このフィールドで繰り返し列を有効にする

■ 選択肢系列の表示変更
フォームの表示が変更されます。
リストの列で設定した選択肢は無視されます。

列	設定
色選択	☐ このフィールドで表示変更を有効にする

■ 参照系列の設定
参照列の設定および表示が変更されます。

列	設定
食品分類	☐ このフィールドの設定変更を有効にする
食品商品	☐ このフィールドの設定変更を有効にする

保存 初期化 エクスポート インポート キャンセル

◇ **数値系列の表示変更**

「数値」や「通貨」、「集計値」の数値系列について、リストの表示フォームとビュー上の表示フォーマットを変更します。

※ 設定方法については、「[数値系列の表示変更の設定](#)」をご参照ください。

◇ **ユーザー列の表示変更**

ユーザー列について、リストの表示フォームとビュー上に画像を表示させることができます。

※ 設定方法については、「[ユーザー列の表示変更の設定](#)」をご参照ください。

◇ **繰り返し列の設定**

複数行テキスト列を繰り返し行が利用できる「繰り返し列」に変換し、動作も追加できます。

※ 設定方法については、「[繰り返し列の設定](#)」をご参照ください。

◇ **選択肢系列の表示変更**

チェックボックス、ラジオボタンを横に並べたり、「表示名」と「値」を設定したりすることができます。

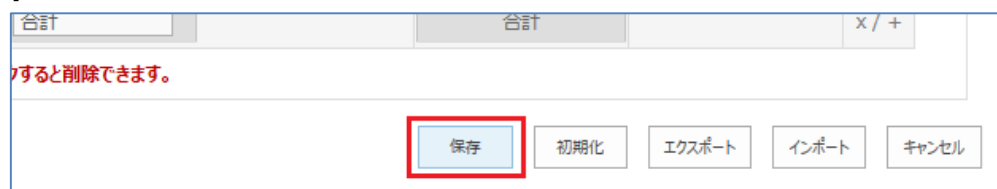
※ 設定方法については、「[選択肢系列の表示の設定](#)」をご参照ください。

◇ **参照系列の設定**

別サイトのリストを設定(Cross Site 対応)したり、他の参照列や選択肢列と連動(カスケード対応)したりすることができます。また、参照する選択肢の並べ替えやフィルターを行うことができます。

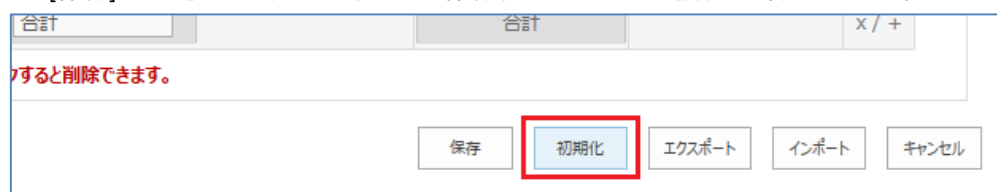
※ 設定方法については、「[参照系列の設定](#)」をご参照ください。

[保存]ボタンをクリックすると設定は完了です。

A screenshot of a web application's settings interface. At the top, there are two input fields labeled '合計' (Total) and a button with 'x / +' symbols. Below these is a red text message: 'フすると削除できます。' (You can delete by clicking here). At the bottom, there is a row of five buttons: '保存' (Save), '初期化' (Reset), 'エクスポート' (Export), 'インポート' (Import), and 'キャンセル' (Cancel). The '保存' button is highlighted with a red rectangular box.

[初期化]ボタンをクリックすると、設定画面上の指定動作を初期化(何も指定していない状態)にできます。

※ [保存]ボタンをクリックするまで、過去の保存済みのフィールド動作は削除されません。

A screenshot of the same web application's settings interface as above. The layout is identical, but now the '初期化' (Reset) button in the bottom row is highlighted with a red rectangular box.

数値系列の表示変更の設定

「数値系列の表示変更」の設定を行うと、リストの表示フォームとビュー上で、「数値」「通貨」「集計値」の数値系列について、列単位での表示フォーマット変更が可能です。

※ 具体的な設定手順については「[数値系列の表示変更の設定手順例](#)」をご参照ください。

■ 数値系列の表示変更

表示フォームとビューでの表示が変更されます。

列	設定
合計(税込)	☐ このフィールドの値がマイナス値の場合、赤文字で表示 ☐ このフィールドの値がマイナス値の場合、▲で表示 ☒ このフィールドの値がマイナス値の場合、マイナス(-)で表示 ☒ このフィールドの値をカンマ(,)で区切って表示

【列】

リストに追加されている、表示変更が可能な数値系列の列名が表示されます。

表示変更が可能な列の種類は、数値、通貨、集計値です。

【設定】

表示フォーマットを選択し、チェックボックスをオンにします。

- [このフィールドの値がマイナス値の場合、赤文字で表示]
フィールドの値がマイナス値の場合、赤文字で表示します。
(例) チェックボックスをオンにした場合、フィールドの値が「-1,000」のとき、「**-1,000**」と表示されます。
- [このフィールドの値がマイナス値の場合、▲で表示]
フィールドの値がマイナス値の場合、▲で表示します。
(例) チェックボックスをオンにした場合、フィールドの値が「-1,000」のとき、「▲1,000」と表示されます。
- [このフィールドの値がマイナス値の場合、マイナス(-)で表示]
フィールドの値がマイナス値の場合、マイナス(-)で表示します。
(例) チェックボックスをオフにした場合、フィールドの値が「-1,000」のとき、「1,000」と表示されます。
- [このフィールドの値をカンマ(,)で区切って表示]
フィールドの値をカンマ(,)で区切って表示します。
(例) チェックボックスをオフにした場合、フィールドの値が「1,200,000」のとき、「1200000」と表示されます。

「ユーザー列の表示変更」の設定を行うと、ユーザーアカウントに紐付く画像を表示フォームやビューのユーザー列に表示させることができます。

※ 列の種類は「ユーザーとグループ」で、列の追加設定で「ユーザーのみ」が選択されている場合に限ります。

ユーザー列の表示変更の設定方法は以下の通りです。

※ 具体的な設定手順については「[ユーザー列の表示変更の設定手順例](#)」をご参照ください。

1. 表示する画像ファイルを作成し、任意のライブラリに保存します。

画像ファイル名は「ドメイン_アカウント名.拡張子」です。

また有効な拡張子は[.JPG][.GIF][.PNG]です。

2. 画像表示ユーザー列の表示変更の設定を有効にします。

[このフィールドで表示変更を有効にする]

画像で表示させたいユーザー列の設定で、「このフィールドで表示変更を有効にする」チェックボックスをオンにすると、詳細設定欄が表示されます。

列	設定
印鑑	☒ このフィールドで表示変更を有効にする サイト選択 サブサイト ライブラリ選択 ドキュメント 画像ファイル拡張子選択 .PNG 画像が存在しない場合 ☒ 空白で表示 ☐ ユーザー名で表示 ☐ 指定の画像で表示(画像のURLを指定)

3. 手順 1. で画像ファイルを保存したライブラリと、指定の画像が存在しない場合の表示方法を指定します。

印鑑	☒ このフィールドで表示変更を有効にする サイト選択 サブサイト ライブラリ選択 ドキュメント 画像ファイル拡張子選択 .PNG 画像が存在しない場合 ☒ 空白で表示 ☐ ユーザー名で表示 ☐ 指定の画像で表示(画像のURLを指定)
----	--

◇ [サイト選択]

サイトコレクション内にある全てのサイトから画像ファイルを保存したサイトを指定します。

◇ [ライブラリ選択]

[サイト選択]で選択したサイト内にある全てのライブラリから、手順 1 で画像ファイルを保存したライブラリを指定します。

◇ [画像ファイル拡張子選択]

手順 1 で保存した画像ファイルの拡張子を、[.JPG][.GIF][.PNG]から指定します。

◇ [画像が存在しない場合]

上記の[サイト設定][ライブラリ設定][画像ファイル拡張子選択]で、指定したライブラリに指定の画像が存在しない場合のユーザーアカウントの表示方法を指定します。

✓ [空白で表示] ...

指定したライブラリに画像が存在しない場合、下図のようにフィールドには空白が表示されます。

✓	タイトル	印鑑
	T-0251N	...

✓ [ユーザー名で表示] ...

指定したライブラリに画像が存在しない場合、下図のようにフィールドにはユーザー名が表示されます。

✓	タイトル	印鑑
	T-0251N	... □ 安句 太郎

✓ [指定の画像で表示(画像の URL を指定)] ...

指定したライブラリに画像が存在しない場合、下図のようにフィールドには指定した画像が表示されます。

✓	タイトル	印鑑
	T-0251N	... 

上図のように指定の画像を設定する方法は以下の通りです。

- ① 表示する画像ファイルを作成し、任意の名前で保存します。
- ② 作成した画像ファイルを任意のドキュメントに保存します。
- ③ リスト フィールド デザイナー設定画面を開き、リスト フィールド デザイナー機能を有効にします。

[ユーザー系列の表示変更]で対象列の「このフィールドで表示変更を有効にする」チェックボックスをオンにし、表示する画像ファイルの保存場所などを指定します。

- ④ [画像が存在しない場合]で「指定の画像で表示(画像の URL を指定)」チェックボックスをオンにし、右端のテキストに②で保存した画像ファイルの URL を指定します。

画像が存在しない場合

☐ 空白で表示

☐ ユーザー名で表示

☒ 指定の画像で表示(画像のURLを指定)

http://example.com/

繰り返し列の設定

「繰り返し列の設定」を行うと、リストのフォームとビュー上で、複数行テキスト列を「繰り返し列」として利用できるようになります。

新規フォーム、表示フォーム、編集フォームの各フォームと、ビュー上で列のフォーマットが表形式になり、繰り返し行や任意の文字列を配置できるほか、数式や関数なども利用できます。

や任意の文字列を配置できるほか、数式や関数なども利用できます。

なお、繰り返し列として利用可能な列は、[書式なしテキスト]の複数行テキストのみです。

繰り返し列の設定方法は以下の通りです。

※ 具体的な設定手順については「[繰り返し列の設定手順例](#)」をご参照ください。

1. 繰り返し列として利用する複数行テキスト列の設定を有効にします。

[このフィールドで繰り返し列を有効にする]

繰り返し列として利用したい複数行テキスト列の設定で、「このフィールドで繰り返し列を有効にする」チェックボックスをオンにすると、詳細設定欄が表示されます。

繰り返し列の設定

複数行テキストを繰り返し列に変換します。(種類は、[書式なしテキスト])
新規フォーム、表示フォーム、編集フォーム、ビューでの表示が変更されます。

スタイル設定(CSSファイルのURL):

列	設定						
内訳	☒ このフィールドで繰り返し列を有効にする						
	結合 横に分割 縦に分割						
	テキストボックス ドロップダウン 参照ドロップダウン 集計 ヘッダー設定 繰り返し行設定 フッター設定						
	<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>x / +</td> </tr> </table>						x / +
						x / +	
<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>							

* 配置したアイテムはダブルクリックすると削除できます。

2. フィールドテーブルを作成します。

➤ フィールドテーブル

フィールドテーブルには、ヘッダー設定テーブル、繰り返し行設定テーブル、フッター設定テーブルがあり、行の追加/削除、セルの結合/分割が可能です。

ヘッダー設定						
<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>x / +</td> </tr> </table>						x / +
					x / +	
繰り返し行設定						
<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>						
フッター設定						
<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>x / +</td> </tr> </table>						x / +
					x / +	

[ヘッダー設定]

繰り返し列のヘッダー部分(下図の①の部分)を設定します。

[繰り返し行設定]

繰り返し列の繰り返し行(下図の②の部分)を設定します。

新規フォームや編集フォームで行を追加することができます。

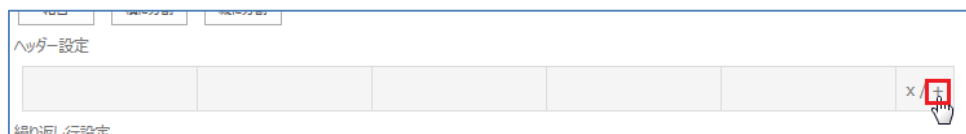
[フッター設定]

繰り返し列のフッター部分(下図の③の部分)を設定します。

内訳					
...	商品	①	個数	金額	
	カテゴリ3 商品B	3		¥6,000	
	カテゴリ1 商品D	6		¥15,000	
	小計			¥21,000	
	消費税	③		¥1,680	
	合計			22,680	

◇ 行の追加

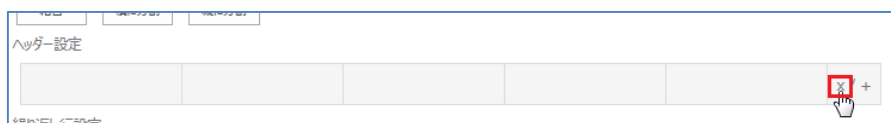
テーブルの右端にある「x / +」の「+」をクリックすると、下に行が追加されます。



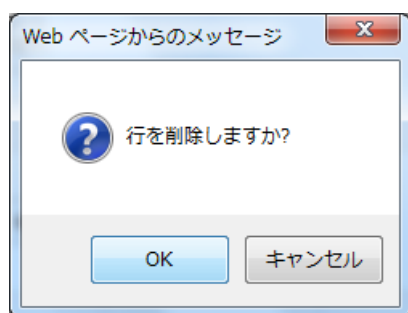
※ [繰り返し設定]テーブルでは行の追加はできません。

✧ 行の削除

① テーブルの右端にある「x / +」の「x」をクリックします。



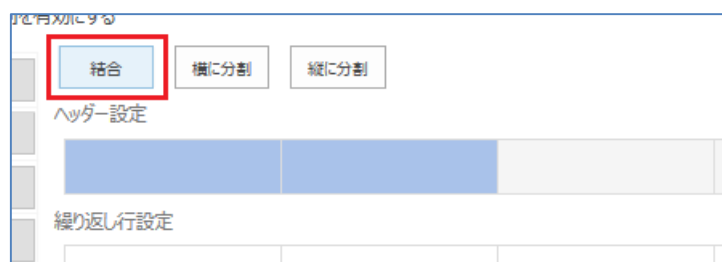
② 削除確認メッセージが表示され、[OK]ボタンをクリックすると、行は削除されます。
削除した列に配置されているコントロールは全て削除されます。



✧ 結合

セルを結合します。

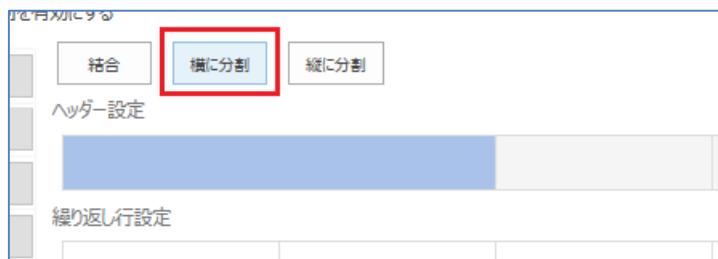
結合するセルをクリックして選択し、[結合]ボタンをクリックするとセルが結合されます。



✧ 横に分割

結合されているセルを横に分割します。

分割するセルをクリックして選択し、[横に分割]ボタンをクリックすると、セルが分割されます。



◇ 縦に分割

結合されているセルを縦に分割します。

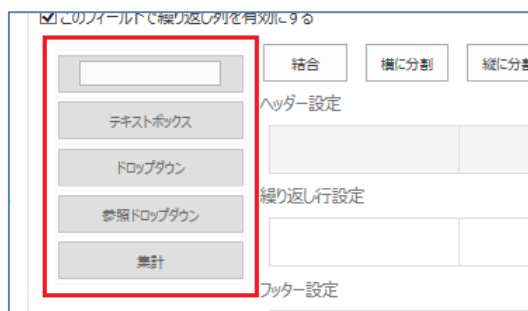
分割するセルをクリックして選択し、[縦に分割]ボタンをすると、セルが縦に分割されます。



3. コントロールの配置と設定を行います。

➤ コントロール

コントロールには、タイトル行テキスト、テキストボックス、ドロップダウン、参照ドロップダウン、集計があります。



[タイトル用テキスト]

任意の文字列を入力し、表示します。

※設定方法については、「➤ タイトル用テキストの設定」をご参照ください。

[テキストボックス]

フリーテキストや数値テキストを入力し、表示します。

※設定方法については、「➤ テキストボックスの設定」をご参照ください。

[ドロップダウン]

ドロップダウンの選択肢を入力し、表示します。

※設定方法については、「> ドロップダウンの設定」をご参照ください。

【参照ドロップダウン】

他のサイトやリストを参照し、フィールド値を取得します。

※設定方法については、「> 参照ドロップダウンの設定」をご参照ください。

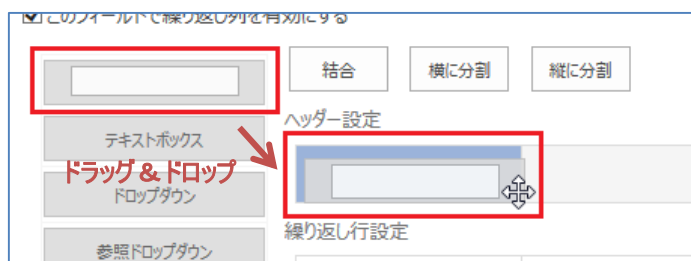
【集計】

繰り返し列内の値の集計を行います。

※設定方法については、「> 集計の設定」をご参照ください。

◇ コントロールの配置

フィールドテーブル上にコントロールを配置するには、コントロールを選択してテーブルヘッダドラッグ&ドロップします。



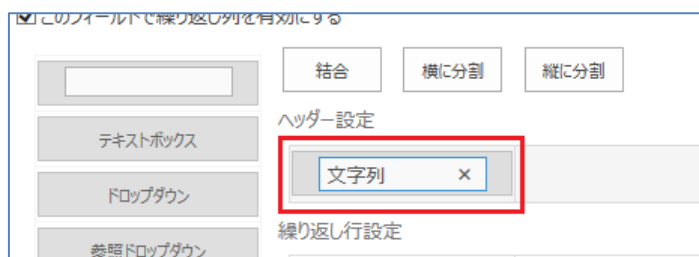
◇ コントロールの削除

テーブルに配置したコントロールを削除するには、削除するコントロールをダブルクリックします。



➤ タイトル用テキストの設定

- ① タイトル用テキストをテーブルに配置します。
- ② テーブルに配置されたタイトル用テキストを選択し、任意の文字列を入力します。



➤ テキストボックスの設定

- ① テキストボックスをテーブルに配置します。
- ② 配置したテキストボックスをクリックします。
- ③ テキストボックス設定画面が表示されます。

テキストボックス設定

タイトル *

入力タイプ *
☒ フリーテキスト
☐ 数値テキスト

入力時設定
必須にする: ☐ はい ☒ いいえ
最大文字数:
IMEの設定: ▼

保存 キャンセル

- ✓ [タイトル]
テーブル上で表示するタイトル名を指定します。
ここで入力したタイトル名は、リストフォームやビュー上には表示されません。
- ✓ [入力タイプ]
「フリーテキスト」または「数値テキスト」を選択します。

入力タイプが「フリーテキスト」の場合

入力時設定

必須にする: ☐ はい ☒ いいえ
最大文字数:
IMEの設定: ▼

- ✓ [入力時設定]
 - ・ [必須にする] ... 値の入力を必須にするか否かを指定します。
 - ・ [最大文字数] ... 入力可能な最大文字数を指定します。
 - ・ [IME の設定] ... IME の設定を行います。

入力タイプが「数値テキスト」の場合

入力時設定

必須にする: ☐ はい ☒ いいえ

最小値:

最大値:

小数点以下行数:

表示時設定

パーセンテージで表示:(例:50%) ☐ はい ☒ いいえ

カンマ区切りで表示: ☐ はい ☒ いいえ

先頭文字: ☐ 値がマイナスの場合、[-]の後に表示

末尾文字:

マイナス時に赤字表示: ☐ はい ☒ いいえ

✓ [入力時設定]

- ・ [必須にする] ... 値の入力を必須にするか否かを指定します。
- ・ [最小値] ... 最小値を指定します。
- ・ [最大値] ... 最大値を指定します。
- ・ [小数点以下行数] ... 小数点以下の行数を選択します。

✓ 表示時設定

- ・ [パーセンテージで表示] ... パーセンテージで表示するか否かを指定します。
- ・ [カンマ区切りで表示] ... カンマ区切りで表示するか否かを指定します。
- ・ [先頭文字] ... 値の先頭に表示する文字列を指定します。
[値がマイナスの場合、[-]の後に表示]のチェックをオンにした場合、[-]の後に指定した先頭文字を表示します。チェックがオフの場合は、先頭文字の後に[-]が表示されます。
- ・ [末尾文字] ... 値の末尾に表示する文字列を指定します。
- ・ [マイナス時に赤字表示] ... マイナス時に値を赤字で表示するか否かを指定します。

- ④ [保存]ボタンをクリックすると設定が完了します。

➤ ドロップダウンの設定

- ① ドロップダウンをテーブルに配置します。
- ② 配置したドロップダウンをクリックします。
- ③ ドロップダウン設定画面が表示されます。

ドロップダウン設定

タイトル *

項目	テキスト	値	
			x/+
			x/+
			x/+
			x/+

保存 キャンセル

- ✓ [タイトル]

テーブル上で表示するタイトル名を指定します。

ここで入力したタイトル名は、リストフォームやビュー上には表示されません。
- ✓ [項目]
 - ・ [テキスト] ... ドロップダウンリストに表示する項目のテキストを指定します。
 - ・ [値] ... ドロップダウンリストに表示する項目の値を指定します。

たとえば、ドロップダウンリストには商品名を表示して参照ダウンロード設定の連動では商品コードを使用したい場合に、[テキスト]には商品名を指定し、[値]には商品コードを指定します。

 - ・ 「+」 ... 「x/+」の「+」をクリックすると、下に行が追加されます。
 - ・ 「x」 ... 「x/+」の「x」をクリックすると行の削除確認メッセージが表示され、[OK]ボタンをクリックすると、行は削除され、設定されている値は削除されます。設定されている行が1行の場合、その列は削除されません。(設定されているテキストや値のデータも削除されません。)

- ④ [保存]ボタンをクリックすると設定が完了します。

➤ 参照ドロップダウンの設定

- ① 参照ドロップダウンをテーブルに配置します。
 - ② 配置した参照ドロップダウンをクリックします。
 - ③ 参照ドロップダウン設定画面が表示されます。
- 取得するフィールドの情報を指定します。

参照ドロップダウン設定

×

タイトル *

参照サイト

サイトコレクションA

参照リスト

サイトのページ

表示するフィールド

名前 (FileLeafRef)

その他取得フィールド

☐ 名前 (FileLeafRef)
☐ Wiki コンテンツ (WikiField)
☐ タイトル (Title)
☐ ID (ID)
☐ コンテンツ タイプ (ContentType)
☐ 登録日時 (Created)
☐ 登録者 (Author)
☐ 更新日時 (Modified)

↑

↓

連動

☒ 連動しない
☐ 繰り返し列内の他ドロップダウンと連動

並べ替え

☒ 並べ替えしない
☐ 並べ替えする

フィルター

☒ すべてのアイテム
☐ 次の条件に該当するアイテム

保存

キャンセル

- ✓ [タイトル]
テーブル上で表示するタイトル名を指定します。
ここで入力したタイトル名は、リストフォームやビュー上には表示されません。
- ✓ [参照サイト]
サイトコレクション内にある全てのサイトから、参照するサイトを選択します。
- ✓ [参照リスト]
[参照サイト] で選択したサイトに存在する全てのリストから、参照するリストを選択します。
- ✓ [表示するフィールド]
[参照リスト]で選択したリストに存在する全てのフィールドから、繰り返し列に表示するフィールドを選択します。
- ✓ [その他取得フィールド]
[表示するフィールド]以外に表示させたいフィールドがある場合、[参照リスト]で選択したリストに存在する全てのフィールドのチェックボックス一覧から取得するフィールドのチェックボックスをオンにします。
複数選択可能です。
- ✓ [連動]

- ・ [連動しない] ……
繰り返し列内の他のドロップダウンとは連動しません。
- ・ [繰り返し列内の他ドロップダウンと連動] ……
繰り返し列内の他のドロップダウンと連動します。
 - ・ 「フィールド名」 …… [参照リスト]で選択した参照リスト内に存在するフィールドから連動するフィールドを選択します。

- ・ 「条件」 …… 上記の「フィールド名」で選択した列の値が、どのような条件の時に連動の対象となるのかを指定します。この項目は、「フィールド名」でどのフィールドを選択したかによって内容が変わります。表示された内容に従って条件を選択してください。

値の指定の仕方は、次のように変化します。

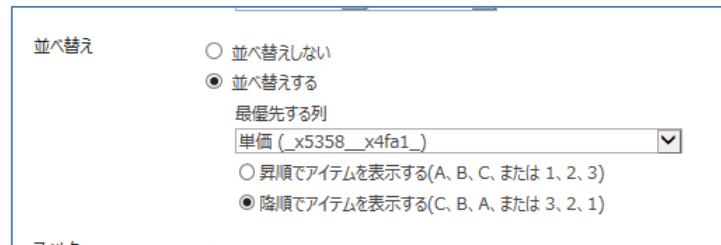
選択した列の種類	比較条件の指定方法
一行テキスト	比較条件： 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値で始まる／ 次の値を含む
複数行テキスト	比較条件： 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値で始まる／

	次の値を含む
選択肢	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値で始まる／ 次の値を含む
数値、通貨	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下
日付と時刻	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下
参照	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下／次の 値で始まる／次の値を含む
はい／いいえ	比較条件: 次の値に等しい／次の値に等しくない
ユーザー、グループ	比較条件: 次の値に等しい／次の値に等しくない／次の値を含む
集計値	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下

- ・ 「コントロール」・・・ テーブルに配置されて設定されているドロップダウン、参照ドロップダウンから、連動させるコントロールを指定します。

- ・ 「値」・・・ 連動させる値を指定します。

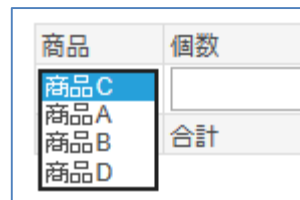
✓ [並べ替え]



・ [並べ替えしない] ...

参照ドロップダウンのリストを並べ替えしません。

リストフォームやビュー上では、下図のようにドロップダウンのアイテムを表示します。

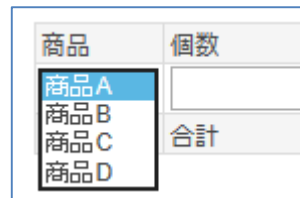


・ [並べ替えする] ...

参照ドロップダウンのリストを指定した列で昇順または降順に並べ替えます。

リストフォームやビュー上では、下図のようにドロップダウンのアイテムを表示します。

([商品]列のアイテムを昇順に並べ替えた例)



- ・ [最優先する列] ... 並べ替えで最優先する列を指定します。
- ・ [昇順でアイテムを表示する] ... [最優先する列]で指定した列のアイテムを昇順(A、B、C、または 1、2、3)で表示します。
- ・ [降順でアイテムを表示する] ... [最優先する列]で指定した列のアイテムを降順(C、B、A、または 3、2、1)で表示します。

✓ [フィルター]

フィルター

☐ すべてのアイテム

☒ 次の条件に該当するアイテム

次の条件のとき、アイテムを表示する

単価 (_x5358__x4fa1_)

次の値より大きい

1000

☒ AND ☐ OR

次の条件のとき、アイテムを表示する

なし

フィルターを追加...

- ・ [すべてのアイテム] ...

リストフォームやビュー上では、下図のようにすべてのアイテムを表示します。

商品	個数
商品C	
商品A	
商品B	
商品D	
合計	

- ・ [次の条件に該当するアイテム] ...

下図のように指定した条件に該当するアイテムのみを表示します。

([商品]の単価が「1000」より大きいアイテムのみを表示した例)

商品	個数
商品C	
商品A	
商品D	
合計	

- ・ 「フィールド名」 ... [参照リスト]で選択した参照リスト内に存在するフィールドから、アイテムをフィルター処理するフィールドを選択します。

次の条件に該当するアイテム

次の条件のとき、アイテムを表示する

単価 (_x5358__x4fa1_)

次の値より大きい

1000

- ・ 「条件」 ... 上記の「フィールド名」で選択した列の値が、どのような条件の時に表示の対象となるのかを指定します。この項目は、「フィールド名」でどのフィールドを選択したかによって内容が変わります。表示された内容に従って条件を選択してください。

● 次の条件に該当するアイテム

次の条件のとき、アイテムを表示する

単価 (x5358 x4fa1_)

次の値より大きい

1000

値の指定の仕方については、次のように変化します。

選択した列の種類	比較条件の指定方法
一行テキスト	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値で始まる／ 次の値を含む
複数行テキスト	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値で始まる／ 次の値を含む
選択肢	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値で始まる／ 次の値を含む
数値、通貨	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下
日付と時刻	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下
参照	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下／次の 値で始まる／次の値を含む
はい／いいえ	比較条件: 次の値に等しい／次の値に等しくない
ユーザー、グループ	比較条件: 次の値に等しい／次の値に等しくない／次の値を含む
集計値	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下

- ・ 「値」・・・ 表示させる値を指定します。

現在の日付に基づいてフィルターを実行したい場合は、「[Today]」、現在のユーザーに基づいてフィルターを実行したい場合は、「[Me]」と入力してください。

● 次の条件に該当するアイテム

次の条件のとき、アイテムを表示する

単価 (_x5358_ _x4fa1_)

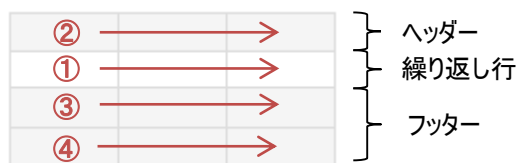
次の値より大きい

1000

- ④ [保存]ボタンをクリックすると設定が完了します。

➤ 集計の設定

集計は、下図のように左から順に「繰り返し行」、「ヘッダー」、「フッター」の順に算出されます。



集計の設定方法は以下の通りです。

- ① 集計をテーブルに配置します。
- ② 配置した集計をクリックします。
- ③ 集計設定画面が表示されます。

集計設定

タイトル *

変数設定

変数名	項目	集計する値項目	合計
ヘッダー行項目	なし	なし	
繰り返し行項目	なし	なし	なし
フッター行項目	なし	なし	

追加された変数

数式 (resultValue)

ex) return p1;

結果表示形式 (アイテム更新時に反映)

● 標準結果表示設定

小数点以下桁数: 自動

パーセンテージで表示:(例:50%) ☐ はい ☒ いいえ

カンマ区切りで表示: ☐ はい ☒ いいえ

先頭文字: 値がマイナスの場合、[-]の後に表示

末尾文字:

マイナス時に赤字表示: ☐ はい ☒ いいえ

☐ カスタム結果表示設定(return 値として HTML を返す)

結果を指定の列に設定

保存 キャンセル

※[変数設定]の[合計]の設定項目と、[結果を指定の列に設定]の設定項目は、[ヘッダー設定]テーブルと[フッター設定]テーブルに配置した場合のみ集計設定画面に表示されます。

✓ [タイトル]

テーブル上で表示されるタイトルを指定します。

ここで入力したタイトル名は、リストフォームやビュー上には表示されません。

✓ [変数設定]

集計計算を行うための変数を指定します。

設定する集計コントロールの左端のセルに存在するコントロールを用いて変数を指定することができます。

ヘッダー設定テーブルまたはフッター設定テーブルに配置した場合

任意の変数名、[項目]、[集計する値項目]、[合計]を指定し、[追加]ボタンをクリックします。これにより変数定義され、下記の[追加された変数]の表に追加されます。

変数設定	変数名	項目	集計する値項目	合計	
ヘッダー行項目		なし	なし		追加
繰り返し行項目		なし	なし	なし	追加
フッター行項目		なし	なし		追加

繰り返し行設定に配置した場合

任意の変数名、[項目]、[集計する値項目]を指定し、[追加]ボタンをクリックします。

これにより変数定義され、下記の[追加された変数]の表に追加されます。

変数設定	変数名	項目	集計する値項目	
ヘッダー行項目		なし	なし	追加
繰り返し行項目		なし	なし	追加
フッター行項目		なし	なし	追加

✓ [追加された変数]

上記の[変数設定]で追加された変数が表示されます。

不要な変数については、右端の「x」ボタンをクリックし、削除することが出来ます。

追加された変数	変数名	項目	集計する値項目	合計	
	p1	金額集計	集計値	合計	x

✓ [数式(resultValue)]

[追加された変数]の変数名を用いてフィールドに実装する集計値の数式を指定します。

(例) return p1;

✓ [結果表示形式]

集計結果の値の表示形式を指定します。指定した表示形式はアイテム更新時に反映されます。

- ・ [標準結果表示設定] ...
 - ・ [小数点以下行数] ... 小数点以下の行数を指定します。
 - ・ [パーセンテージで表示] ... パーセンテージで表示するか否かを指定します。
 - ・ [カンマ区切りで表示] ... カンマ区切りで表示するか否かを指定します。
 - ・ [先頭文字] ... 値の先頭に表示する文字列を指定します。[値がマイナスの場合、[-]の後に表示]のチェックをオンにした場合、[-]の後に指定した先頭文字を表示します。チェックがオフの場合は、先頭文字の後に[-]が表示されます。
 - ・ [末尾文字] ... 値の末尾に表示する文字列を指定します。
 - ・ [マイナス時に赤字表示] ... マイナス時に値を赤字で表示するか否かを指定します。

- ・ [カスタム結果表示設定] ...

集計結果を表示する際の書式などを直接指定します。

return 値として HTML を返します。

- ✓ [結果を指定の列に設定]

設定を行うと、集計結果を他の列での入力/編集/表示ができるようになります。

[結果を指定の列に設定]は、ヘッダー設定テーブルとフッター設定テーブルで利用できます。

- ・ [フィールド] ...

結果を表示するフィールドを指定します。

ドロップダウンリストには、列の種類が、「テキスト」「数値」「通貨」のフィールドのみが表示されます。

結果を指定の列に設定しない場合は、「なし」を選択します。

- ・ [表示フォーム] ……
指定したフィールドに対して、表示フォームでの表示可能／非表示を設定します。
 - ・ 「表示」 …… 表示フォームの該当するフィールドを表示します。
 - ・ 「非表示」 …… 表示フォームの該当するフィールドを表示しません。

- ・ [新規フォーム] ……
指定したフィールドに対して、新規フォームでの入力可能／入力不可を設定します。
 - ・ 「入力可能」 …… 新規フィールドの該当するフィールドを入力可能にします。
 - ・ 「編集不可」 …… 新規フィールドの該当するフィールドを編集不可にします。
 - ・ 「非表示」 …… 新規フィールドの該当するフィールドを表示しません。

- ・ [編集フォーム] ……
指定したフィールドに対し、編集フォームでの入力可能／編集不可／非表示を設定します。
 - ・ 「入力可能」 …… 編集フィールドの該当するフィールドを入力可能にします。
 - ・ 「編集不可」 …… 編集フィールドの該当するフィールドを編集不可にします。
 - ・ 「非表示」 …… 編集フィールドの該当するフィールドを表示しません。

④ [保存]ボタンをクリックすると設定が完了します。

選択肢系列の表示変更

「選択肢系列の表示変更」を行うと、リストのフォームで、チェックボックスやラジオボタンを横に並べたり、「表示名」と「値」を設定したりすることができます。

選択肢系列の表示変更の設定方法は以下の通りです。

※ 具体的な設定手順については「[選択肢系列の表示変更の設定手順例](#)」をご参照ください。

1. 表示を変更する選択肢列の設定を有効にします。

[このフィールドで表示変更を有効にする]

表示を変更させたい選択肢列の設定で、「このフィールドで表示変更を有効にする」チェックボックスをオンにすると、詳細設定欄が表示されます。

選択肢系列の表示変更

フォームの表示が変更されます。
リストの列で設定した選択肢は無視されます。

列	設定
色選択	☒ このフィールドで表示変更を有効にする ☐ 「表示名」と「値」で異なる選択肢を指定 ※リストの列で指定した選択肢は無視されます。 ※選択肢を追加できるようにすることはできません。 ※クイック編集時は読み取り専用になります。 選択肢の表示形式を設定してください。 ☒ ドロップダウン (単一選択) ☐ ラジオボタン (単一選択) ☐ チェック ボックス (単一選択)

詳細設定欄

2. 選択肢の「表示名」と「値」で異なる値を指定する場合、有効にします。

「表示名」と「値」で異なる選択肢を指定

無効の場合、選択肢列に指定された選択肢がそのまま使用されます。

☒ このフィールドで表示変更を有効にする

☒ 「表示名」と「値」で異なる選択肢を指定
※リストの列で指定した選択肢は無視されます。
※選択肢を追加できるようにすることはできません。
※クイック編集時は読み取り専用になります。

選択肢を設定

選択肢の表示形式を設定してください。

・有効にした場合の注意点

※リストの列で指定した選択肢は無視されます。

※選択肢をリストフォームから追加できるようにすることはできません。

(表示名と値が異なる設定のため、ユーザーが選択肢を追加できるような指定はできません。)

※クイック編集時は読み取り専用になります。

3. 「表示名」と「値」を指定します。

手順 2 でチェックをオンにした際に表示された [選択肢を設定] リンクをクリックすると、「選択肢設定」ダイアログボックスが表示されます。

※ 登録できる選択肢の上限は、500 件です。

×

選択肢設定

選択肢項目の設定してください。（※指定可能な選択肢は、500件です。）

	既定値	表示名	値	
1	☐	赤色	赤色	X/+
2	☐	黄色	黄色	X/+
3	☐	青色	青色	X/+
4	☐	緑色	緑色	X/+

CSV エクスポート

CSV インポート

保存

キャンセル

◇ 【既定値】

新規フォームを開いた際に、既定で選択状態となる値を設定します。

単一選択肢の場合は、1 つ、複数選択肢の場合は、複数チェックすることができます。

◇ 【表示名】

表示/新規/編集フォームおよび、リストビューに表示されます。

表示名に HTML タグを指定することも可能です。

たとえば、「`<span style="color:red">～</span>`」と指定した場合、新規/編集フォームのチェックボックスやラジオボタンの文字が赤文字で表示されます。また、表示フォームやリストビューに表示される選択された文字も赤文字で表示されます。

※ ドロップダウンの選択肢は、黒のまま表示されます。

◇ 【値】

選択肢が選択された場合に、選択肢列の値として実際に保存されます。

「表示名」と「値」を指定することで以下のメリットがあります。

- ✓ 他のシステムとの連携が容易になります。
- ✓ 表示名のみ変更することが可能なため、既に登録済みのアイテムに影響することなく、選択肢の表示名を変更することができます。

◇ 【+】

右端にある「X/+」の「+」をクリックすると、下に行が追加されます。

◇ 【X】

「X/+」の「X」をクリックすると、行の削除確認メッセージが表示され、[OK]ボタンをクリックすると、行は削除され設定されている値も削除されます。

◇ **[CSV エクスポート]**

現在指定されている「表示名」と「値」を CSV ファイルでエクスポートします。

CSV フォーマット : UTF8(BOM 付)、カンマ区切り

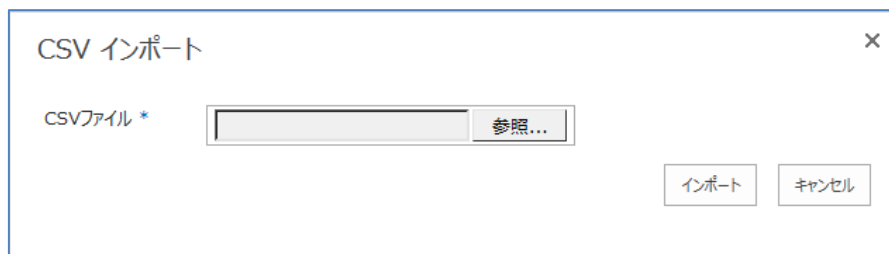
※ 既定値はエクスポート対象外です。

◇ **[CSV インポート]**

「表示名」、「値」を CSV ファイルからインポートします。

[CSV インポート]ボタンをクリックすると、「CSV インポート」ダイアログボックスが表示されます。

「CSV インポート」ダイアログボックスで、インポートする CSV ファイルを指定して、[インポート]ボタンをクリックするとインポートされます。



CSV フォーマット: UTF8(BOM 付)、カンマ区切り

※ [CSV エクスポート]で出力した CSV ファイルのフォーマットを使用してインポートしてください。

◇ **[保存]**

指定した選択肢の設定を保存し、「選択肢設定」ダイアログボックスを閉じます。

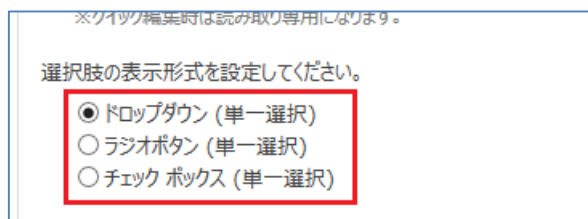
◇ **[キャンセル]**

変更を保存せず「選択肢設定」ダイアログボックスを閉じます。

4. 選択肢の表示形式を指定します。

選択肢の表示形式は以下から選ぶことができます。

✓ 単一選択の場合

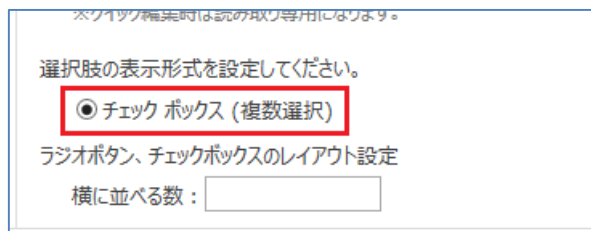


ドロップダウン ... 選択肢がドロップダウンで表示されます。

ラジオボタン ... 選択肢がラジオボタンで表示されます。

チェックボックス・・・選択肢がチェックボックスで表示されます。ラジオボタンとの違いは、一度チェックをしても、チェックを外せるため、未選択状態に戻すことができます。

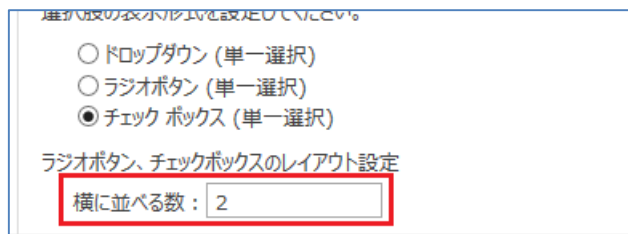
✓ 複数選択の場合



チェックボックス・・・選択肢がチェックボックスで表示されます。

5. ラジオボタン、チェックボックスのレイアウトを設定します。

選択肢の表示形式が、ラジオボタン、または、チェックボックスの場合、横に並べる数を指定することができます。



※ 横に並べる数が未指定の場合は、「1」が入力されたものとされます。

参照系列の設定

「参照系列の設定」を行うと、以下の設定を行うことができます。

- ✓ 参照先に別サイトのリストを指定可能(Cross Site 対応)
- ✓ 連動可能(カスケード対応)
 - ※連動可能な親の列は、単一選択肢列か単一参照列のみ
 - ※子の参照列が複数選択肢でも連動可能
- ✓ 参照先リストのアイテム数 5,000 件以上に対応
- ✓ 並べ替え可能
- ✓ フィルター可能

参照系列の設定方法は以下の通りです。

※ 具体的な設定手順については「[参照系列の設定手順例](#)」をご参照ください。

1. 参照列の設定を有効にします。

[このフィールドで表示変更を有効にする]

設定を変更したい参照列で、「このフィールドで表示変更を有効にする」チェックボックスをオンにすると、詳細設定欄が表示されます。

■ 参照系列の設定

参照列の設定および表示が変更されます。

列	設定
食品分類	☒ このフィールドの設定変更を有効にする
	サイト選択 SubSite1
	参照リスト(ライブラリ) 食品分類マスター
	対象の列 分類 (Title)
	その他取得列 ☐ 分類 (LinkTitleNoMenu) ☐ 分類 (LinkTitle) ☐ 表示順 (SortNum) ☐ 削除フラグ (DeleteFlag) ☐ コンテンツ タイプ (ContentType) ☐ 更新日時 (Modified) ☐ 登録日時 (Created) ☐ 登録者 (Author)
	参照リストアクセスアカウント ☐ システム アカウントで参照リストにアクセス ※並べ替え/フィルターを行っても 5,000件以上のアイテムに対応します。
	連動 ☒ 連動しない ☐ 他の選択肢と連動
	並べ替え ☒ 並べ替えしない ☐ 並べ替えする
	フィルター ☒ すべてのアイテム ☐ 次の条件に該当するアイテム
	詳細設定欄

2. 取得するフィールドの情報を指定します。

☒ このフィールドの設定変更を有効にする

サイト選択

SubSite1

参照リスト(ライブラリ)

食品分類マスター

対象の列

分類 (Title)

その他取得列

☐ 分類 (LinkTitleNoMenu)
☐ 分類 (LinkTitle)
☐ 表示順 (SortNum)
☐ 削除フラグ (DeleteFlag)
☐ コンテンツ タイプ (ContentType)
☐ 更新日時 (Modified)
☐ 登録日時 (Created)
☐ 登録者 (Author)

参照リストアクセスアカウント

☐ システム アカウントで参照リストにアクセス
※並べ替え/フィルターを行っても 5,000件以上のアイテムに対応します。

◇ [サイト選択]

ドロップダウンで、参照先のサイトを選択します。

同一サイトコレクションに存在するサイトを選択することができます。

◇ [参照リスト(ライブラリ)]

参照先のリストまたはライブラリを選択します。

[サイトの選択]で選択したサイト内に存在する、リストとライブラリを選択することができます。

◇ [対象の列]

参照列を選択します。

[参照リスト(ライブラリ)]で選択したリストまたはライブラリ内に存在する、参照可能な列を選択することができます。

※リストの参照列の設定も変更されます。

※参照列のその他の設定(追加フィールド)などは、リストの設定画面から行うことができます。

◇ **[その他取得列]**

[その他取得列]でチェックされた列の情報も内部的に取得されます。

この設定は、[連動]で使用したい列を指定します。

[連動]する必要がない場合には、指定する必要はありません。

3. 参照リストアクセスアカウントを指定します。

[システム アカウントで参照リストにアクセス]チェックボックスにチェックを入れます。

参照リストのアイテム取得にシステムアカウントを使用するようになります。

参照リストのアイテムが5,000件以上で、[並べ替え]または[フィルター]を指定した場合、アイテム情報を取得できないため、選択肢が表示されなくなります。

その場合、このチェックを入れることで、5,000件以上のアイテムに対応できます。ただし、参照リストのアイテム毎に権限を指定していた場合、権限設定は無視されます。

※5,000件以上のアイテムを指定した場合、クイック編集では編集できません。

※ドロップダウンの選択肢として数万件を対象とした場合、フォームの表示が遅くなったり、ブラウザの制限によりドロップダウンの操作が不安定になる場合があります。

4. 連動(カスケード)を指定します。

◇ **[連動しない] ...**

他の選択肢とは連動しません。

◇ **[他の選択肢と連動] ...**

他の列で選択された値によって、表示する選択肢を絞り込むことができます。(カスケード)

※ 連動可能な親の列は、単一選択枝列か単一参照列のみです。

- ・ [連動する親の列] … 連動する親の列を指定します。リスト内に存在する単一選択枝列と単一参照列を指定することができます。

※並行実行/フィルターを行う時も 5,000件以上のアイテムに対応します。

連動

☐ 連動しない

☒ 他の選択枝と連動

※連動可能な親の列は、単一選択枝列か単一参照列のみです。

次の条件のとき、アイテムを表示する

連動する親の列 食品分類 (x98df_x54c1_x5206_x985e_) 値 分類 (Title)

演算子 次の値に等しい

連動する値 分類 (FoodCategory)

前へ戻る

- ・ [値] … [連動する親の列]で指定した列のどの値を絞り込み対象の値とするか指定します。

※並行実行/フィルターを行う時も 5,000件以上のアイテムに対応します。

連動

☐ 連動しない

☒ 他の選択枝と連動

※連動可能な親の列は、単一選択枝列か単一参照列のみです。

次の条件のとき、アイテムを表示する

連動する親の列 食品分類 (x98df_x54c1_x5206_x985e_) 値 分類 (Title)

演算子 次の値に等しい

連動する値 分類 (FoodCategory)

前へ戻る

- ✓ 選択枝列の場合:「表示名」、「値」から選択
- ✓ 参照列の場合:「ID」、「対象の列」、「その他取得列」から選択

- ・ [演算子] … 演算子を指定します。

※並行実行/フィルターを行う時も 5,000件以上のアイテムに対応します。

連動

☐ 連動しない

☒ 他の選択枝と連動

※連動可能な親の列は、単一選択枝列か単一参照列のみです。

次の条件のとき、アイテムを表示する

連動する親の列 食品分類 (x98df_x54c1_x5206_x985e_) 値 分類 (Title)

演算子 次の値に等しい

連動する値 分類 (FoodCategory)

前へ戻る

[値]で選択し項目のタイプに対応した演算子が表示されます。

- ✓ 選択枝列の場合

種類	比較条件の指定方法
表示名	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値で始まる／ 次の値を含む
値	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値で始まる／ 次の値を含む

- ✓ 参照列の場合

種類	比較条件の指定方法
ID	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下

一行テキスト	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値で始まる／ 次の値を含む
選択肢	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値で始まる／ 次の値を含む
数値、通貨	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下
日付と時刻	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下
参照	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下／次の 値で始まる／次の値を含む
はい／いいえ	比較条件: 次の値に等しい／次の値に等しくない
ユーザー、グループ	比較条件: 次の値に等しい／次の値に等しくない／次の値を含む
集計値 データの種類: 一行テキスト	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値で始まる／ 次の値を含む
集計値 データの種類: 数値、通貨	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下
集計値 データの種類: 日付と時刻	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下
集計値 データの種類: はい／いいえ	比較条件: 次の値に等しい／次の値に等しくない
ハイパーリンク	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値で始まる／ 次の値を含む

- ・ [連動する値] …… どの値を絞り込み対象の値とするか指定します。
自身の参照列の「ID」、「対象の列」、「その他取得列」から選択することができます。

※並べ替え/フィルタを行うことで5,000件以上のアイテムに対応します。

連動

☐ 連動しない

☒ 他の選択肢と連動

※連動可能な親の列は、単一選択肢列か単一参照列のみです。

次の条件のとき、アイテムを表示する

連動する親の列 食品分類 (_x98df__x54c1__x5206__x985e_) ▼ 値 分類 (Title) ▼

演算子 次の値に等しい ▼

連動する値 分類 (FoodCategory) ▼

並べ替える ☐ 並べ替えない

5. 並べ替えを指定します。

連動する値 分類 (FoodCategory) ▼

並べ替え

☐ 並べ替えしない

☒ 並べ替えする

最優先する列

表示順 (SortNum) ▼

☒ 昇順でアイテムを表示する(A、B、C、または 1、2、3)

☐ 降順でアイテムを表示する(C、B、A、または 3、2、1)

フィルター ☐ すべてのアイテム

◇ [並べ替えしない] ...

参照先リストを並べ替えしません。

◇ [並べ替えする] ...

参照先リストの任意の列で並べ替えすることができます。

※ [その他取得列]で指定する必要はありません。

- ・ [最優先する列] ... 並べ替えで最優先する列を指定します。
- ・ [昇順でアイテムを表示する] ... [最優先する列]で指定した列のアイテムを昇順(A、B、C、または 1、2、3)で表示します。
- ・ [降順でアイテムを表示する] ... [最優先する列]で指定した列のアイテムを降順(C、B、A、または 3、2、1)で表示します。

6. フィルターを指定します。

☐ 降順でアイテムを表示する(C、B、A、または 3、2、1)

フィルター

☐ すべてのアイテム

☒ 次の条件に該当するアイテム

次の条件のとき、アイテムを表示する

削除フラグ (DeleteFlag) ▼

次の値に等しい ▼

いいえ

☒ AND ☐ OR

次の条件のとき、アイテムを表示する

なし ▼

▼

フィルターを追加...

◇ [すべてのアイテム] ...

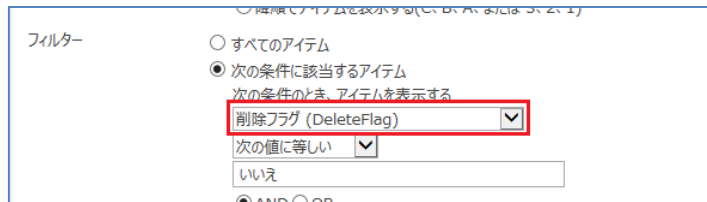
アイテムを表示します。

◇ [次の条件に該当するアイテム] ...

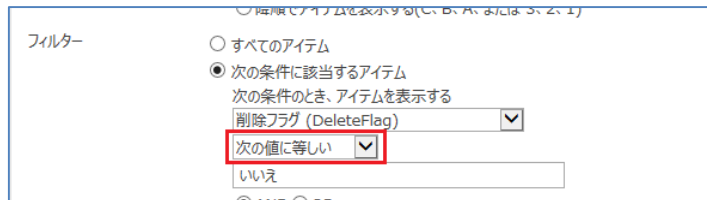
参照先リストの任意の列と条件でフィルターすることができます。

※ [その他取得例]で指定する必要はありません。

・ [列] ... フィルターする列を指定します。



・ [演算子] ... 演算子を指定します。



[列]で選択し項目のタイプに対応した演算子が表示されます。

種類	比較条件の指定方法
一行テキスト	比較条件： 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値で始まる／ 次の値を含む
選択肢	比較条件： 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値で始まる／ 次の値を含む
数値、通貨	比較条件： 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下
日付と時刻	比較条件： 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下
参照	比較条件： 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下／次の 値で始まる／次の値を含む
はい／いいえ	比較条件：

	次の値に等しい／次の値に等しくない
ユーザー、グループ	比較条件: 次の値に等しい／次の値に等しくない／次の値を含む
集計値	比較条件:
データの種類: 一行テキスト	次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値で始まる／ 次の値を含む
集計値	比較条件:
データの種類: 数値、通貨	次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下
集計値	比較条件:
データの種類: 日付と時刻	次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値より大きい ／次の値より小さい／次の値以上／次の値以下
集計値	比較条件:
データの種類: はい/いいえ	次の値に等しい／次の値に等しくない
ハイパーリンク	比較条件: 次に値に等しい／次に値に等しくない／次の値で始まる／ 次の値を含む

- ・ [フィルター]の値] …… フィルターする値を指定します。
現在の日付に基づいてフィルターを実行したい場合は、「[Today]」、現在のユーザーに基づいてフィルターを実行したい場合は、「[Me]」と入力してください。

※ フィルターする列のタイプが「はい/いいえ」の場合、「yes」、「はい」、「true」、「on」、「1」と入力した場合、チェックありを対象とします。それ以外の値が設定されていた場合、チェックなしを対象とします。

※ フィルターする列のタイプが「ユーザー」の場合、ユーザー列で指定された「表示フィールド」設定により指定する値が異なります。たとえば、「名前(プレゼンス付)」の場合、名前を入れることになり、「アカウント」が指定されていた場合には、アカウントを入れることになります。

また、対象の列にグループ名が入力されていた場合、グループ内のユーザーを展開してフィルターしません。

リスト フィールド デザイナーの設定手順例

リスト フィールド デザイナーの設定手順例は、次のとおりです。

数値系列の表示変更の設定手順例

たとえば、「金額」という数値列の表示変更を行います。リストには「金額」という数値列が追加されています。

1. リスト フィールド デザイナー設定画面を開き、リスト フィールド デザイナー機能を有効にします。
2. [数値系列の表示変更]で「金額」列の設定を次のように設定します。

列	設定
金額	☒ このフィールドの値がマイナス値の場合、赤字で表示 ☒ このフィールドの値がマイナス値の場合、▲で表示 ☐ このフィールドの値がマイナス値の場合、マイナス(-)で表示 ☒ このフィールドの値をカンマ(,)で区切って表示

3. [保存]ボタンをクリックします。
4. リストを開きます。
「金額」列の値がマイナス値の場合、赤字で表示され、マイナスは▲で表示されます。
また、値をカンマ(,)で区切って表示されます。

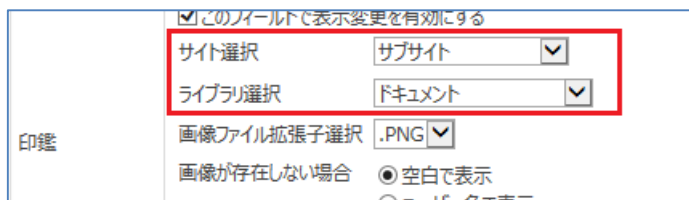
⊕ 新しいアイテムまたはこのリストを編集			
すべてのアイテム ...		アイテムの検索...	
✓	タイトル	金額	
	T-002 弊	...	2,000
	K-002 弊	...	▲5,000

ユーザー列の表示変更の設定手順例

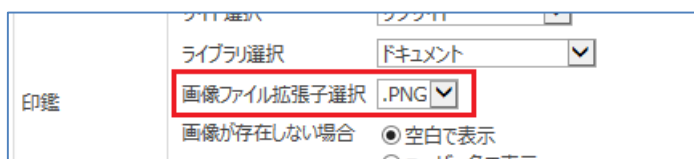
たとえば、下図のようなユーザーアカウントに連動した印鑑画像を表示させるよう設定します。ユーザー列の表示変更の設定を行う前に、リストには画像を表示するためのユーザー列（[ユーザーのみ]選択可能）が追加され、表示する画像は、任意のライブラリに[ドメイン_アカウント名.拡張子]画像が保存されている必要があります。



1. リストにユーザー列を追加します。
列の作成画面で、[名前と種類]では、[ユーザーまたはグループ]を指定し、[列の追加設定]の[次を選択できるようにする]では[ユーザーのみ]を指定します。
(例)ここでは印鑑画像を表示される設定を行うため、列名を「印鑑」とします。
2. 画像を作成します。
画像のファイル名本体は、「ドメイン_アカウント名.拡張子」とします。
有効な画像ファイルの拡張子は、[.JPG][.GIF][.PNG]です。
例えば、ユーザーアカウントが「testdomain¥fukudaa」で、ファイルの拡張子が PNG の場合、印鑑画像のファイル名は「testdomain_fukudaa.png」となります。
3. 手順 2. で作成した画像を任意のライブラリに保存します。
(例)ドキュメントライブラリに「testdomain_fukudaa.png」という画像ファイルを保存します。
4. リスト フィールド デザイナー設定画面を開き、リスト フィールド デザイナー機能を有効にします。
5. [ユーザー系列の表示変更]で「印鑑」列の表示変更を有効にします。
「印鑑」列の「このフィールドで表示変更を有効にする」チェックボックスをオンにします。
6. 手順 3. で画像ファイルを保存したライブラリを選択します。



7. 手順 3. で保存した画像ファイルの拡張子を選択します。



8. 指定したライブラリに印鑑画像が存在しない場合のユーザーアカウントの表示方法を指定します。

9. [保存]ボタンをクリックします。

10. リストを開きます。

「印鑑」列に指定したユーザーアカウントの画像ファイルが存在する場合、印鑑画像を表示します。

指定したユーザーアカウントの画像ファイルが存在しない場合は、「印鑑」列は空白となります。

繰返し列の設定手順例

たとえば、下図のような「内訳」という繰返し列を作成します。また、集計結果は「合計(税込)」列に表示させます。

繰返し列の設定を行う前に、リストには書式なしの複数行テキスト列が追加されている必要があります。

タイトル	内訳	合計(税込)																		
T-0251N	<table border="1"> <thead> <tr> <th>商品</th> <th>個数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カテゴリ3 商品B</td> <td>3</td> <td>¥6,000</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ1 商品D</td> <td>6</td> <td>¥15,000</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>¥21,000</td> </tr> <tr> <td>消費税</td> <td></td> <td>¥1,680</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>¥22,680</td> </tr> </tbody> </table>	商品	個数	金額	カテゴリ3 商品B	3	¥6,000	カテゴリ1 商品D	6	¥15,000	小計		¥21,000	消費税		¥1,680	合計		¥22,680	¥22,680
商品	個数	金額																		
カテゴリ3 商品B	3	¥6,000																		
カテゴリ1 商品D	6	¥15,000																		
小計		¥21,000																		
消費税		¥1,680																		
合計		¥22,680																		

上図の各項目の説明は以下の通りです。

◇ [商品]

◇ [カテゴリ] … ドロップダウンを使用し、ドロップダウンリストの選択肢を指定します。

➤ [商品] … 参照ドロップダウンを使用し、商品リストのデータを参照して選択肢を指定します。また、カテゴリと連動させ、カテゴリで何を選択したかによって表示されるドロップダウンリストの選択肢を変えます。

- ✧ [個数] … 個数を入力するためのテキストボックスを設定します。
- ✧ [金額] … [商品]で選択した商品の単価と[個数]から金額を求めます。
- ✧ [小計] … 金額の合計を算出します。
- ✧ [消費税] … [小計]の消費税金額を算出します。
- ✧ [合計] … 消費税込みの合計金額を算出します。

設定手順は以下の通りです。

1. [商品]の設定で使用する商品リストを作成します。



2. リストには複数行テキスト列を追加します。
列の作成画面で、[名前と種類]では[複数行テキスト]を指定し、[列の追加設定]の[使用可能なテキストの種類を指定してください]では[書式なしテキスト]を指定します。
(例)ここでは列名を「内訳」とします。
3. 集計結果を表示させる列を追加します。
(例)ここでは列の種類を「通貨」、列名を「合計税込」とします。
4. リスト フィールド デザイナー設定画面を開き、リスト フィールド デザイナー機能を有効にします。
5. [繰り返し列の設定]で「内訳」列の繰り返し列を有効にします。
「このフィールドで繰り返し列を有効にする」チェックボックスにチェックを入れます。
6. まず、ヘッダーの設定をします。
タイトル用のテキストを[ヘッダー設定]テーブルに配置し、タイトルを入力します。

ヘッダー設定

商品	個数	金額	X / +
----	----	----	-------

繰り返し行設定

7. 次に繰り返し行の設定をします。

繰り返し行設定

カテゴリ	商品参照	個数	金額集計	
------	------	----	------	--

フィールド設定

- ① まず、[繰り返し列]テーブルにドロップダウンを配置します。

ドラッグ&ドロップ

ドロップダウン

ドロップダウン

- ② 配置したドロップダウンを選択してクリックし、表示されたドロップダウン設定画面で、[タイトル]と[項目]を設定します。

ドロップダウン設定

タイトル * カテゴリ

項目

テキスト	値	
カテゴリ1	1	X/+
カテゴリ2	2	X/+
カテゴリ3	3	X/+
		X/+

保存 キャンセル

- ③ [保存]ボタンをクリックし、設定を完了させます。
- ④ 次に、参照ドロップダウンをテーブルに配置します。

ドラッグ&ドロップ

参照ドロップダウン

参照ドロップダウン

- ⑤ 配置した参照ドロップダウンを選択してクリックし、表示された参照ドロップダウン設定画面で、手順 1. で作成した商品リストを指定します。
- [表示するフィールド]で「商品名」を指定し、[その他取得するフィールド]で「単価」と「カテゴリ」を選択します。

また、[連動]では「繰り返し列内の他のドロップダウンと連動」を選択し、手順 1. で作成した商品リストの[カテゴリ]列と手順 7. の①～③で設定した[カテゴリ]ドロップダウンと連動させます。

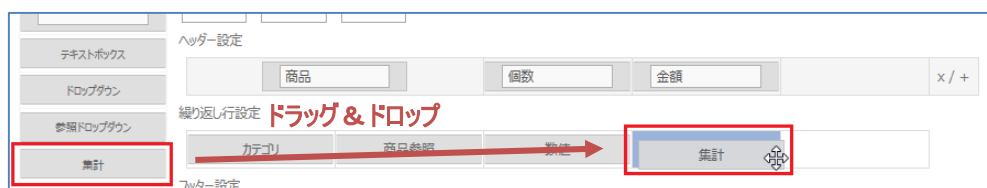
⑥ [保存]ボタンをクリックし、設定を完了させます。

⑦ 続いて、テキストボックスをテーブルに配置します。

⑧ 配置したテキストボックスを選択してクリックし、表示されたテキストボックス設定画面で、[タイトル]、[入力タイプ]、[入力時設定]、[表示時設定]を設定します。

⑨ [保存]ボタンをクリックし、設定を完了させます。

⑩ 最後に、集計をテーブルに配置します。



⑪ 配置した集計を選択してクリックし、表示されたテキストボックス設定画面で、[タイトル]を入力します。

⑫ 次に、変数の設定をします。

[変数設定]の[繰り返し行の項目]で[変数名]に任意の変数名を指定します。

変数設定	変数名	項目	集計する値項目	
ヘッダー行項目		なし	なし	追加
繰り返し行項目	p1	なし	なし	追加
フッター行項目		なし	なし	追加

⑬ [項目]で④～⑥で設定したアイテムの「商品参照」を選択します。

変数設定	変数名	項目	集計する値項目	
ヘッダー行項目		なし	なし	追加
繰り返し行項目	p1	商品参照	なし	追加
フッター行項目		なし	なし	追加

⑭ [集計する値項目]では、⑤の[その他取得するフィールド]で取得した、「単価」を選択します。

変数設定	変数名	項目	集計する値項目	
ヘッダー行項目		なし	なし	追加
繰り返し行項目	p1	商品参照	単価	追加
フッター行項目		なし	なし	追加

⑮ [追加]ボタンをクリックします。下部の[追加した変数]の表に設定した変数が追加されます。

変数設定	変数名	項目	集計する値項目	
ヘッダー行項目		なし	なし	追加
繰り返し行項目	p1	商品参照	単価	追加
フッター行項目		なし	なし	追加

⑯ 個数の値を集計する変数を指定します。

任意の変数名を指定し、[項目]で「個数」、[集計する値項目]で「値」を選択します。

「追加」ボタンをクリックし、下部の[追加した変数]の表に追加します。

追加された変数	変数名	項目	集計する値項目	
	p1	商品参照	単価	X
	p2	個数	値	X

- ⑰ [追加された変数]で追加されている変数を用いて、集計を算出する数式を指定します。

数式
(resultValue)

return p1*p2;

ex) return p1;

結果表示形式

- ⑱ 最後に、[結果表示形式]を設定します。

結果表示形式
(アイテム更新時に反映)

☒ 標準結果表示設定

小数点以下行数: 0

パーセンテージで表示:(例:50%) ☐ はい ☒ いいえ

カンマ区切りで表示: ☒ はい ☐ いいえ

先頭文字: ¥ ☒ 値がマイナスだった場合、[-]の後に表示

末尾文字:

マイナス時に赤文字表示: ☐ はい ☒ いいえ

☐ カスタム結果表示設定(return 値として HTML を返す)

- ⑲ [保存]ボタンをクリックし、設定を完了させます。

8. フッターの設定をします。

フッター設定			
	小計	小計	x / +
	消費税	消費税	x / +
	合計	合計	x / +

*配置したアイテムはダブルクリックでも削除できません

- ① タイトル用テキストを[フッター設定]テーブルに配置し、タイトルを付けます。

- ② 次に、集計をテーブルに配置します。

ドロップダウン

参照ドロップダウン

繰り返し行設定

カテゴリ

商品参照

金額集計

集計

ドラッグ&ドロップ

フッター設定

小計

消費税

合計

集計

x / +

x / +

x / +

*配置したアイテムはダブルクリックでも削除できません

- ③ 配置した集計を選択してクリックし、表示されたテキストボックス設定画面で、任意のタイトルを指定します。

- ④ 変数の設定をします。[変数設定]の[繰り返し行の項目]で[変数名]に任意の変数名を指定します。

変数設定	変数名	項目	集計する値項目	合計
ヘッダー行項目		なし	なし	追加
繰り返し行項目	p1	なし	なし	追加
フッター行項目		なし	なし	追加

- ⑤ [項目]で手順 7. の⑩~⑪で設定したアイテムの「金額集計」を選択します。

変数設定	変数名	項目	集計する値項目	合計
ヘッダー行項目		なし	なし	追加
繰り返し行項目	p1	金額集計	なし	追加
フッター行項目		なし	なし	追加

- ⑥ [集計する値項目]では、「集計値」を選択します。

変数設定	変数名	項目	集計する値項目	合計
ヘッダー行項目		なし	なし	追加
繰り返し行項目	p1	金額集計	集計値	追加
フッター行項目		なし	なし	追加

- ⑦ [合計]では、「合計」を選択します。

変数設定	変数名	項目	集計する値項目	合計
ヘッダー行項目		なし	なし	追加
繰り返し行項目	p1	金額集計	集計値	合計
フッター行項目		なし	なし	追加

- ⑧ [追加]ボタンをクリックすると、下部の[追加した変数]の表に追加されます。

変数設定	変数名	項目	集計する値項目	合計
ヘッダー行項目		なし	なし	追加
繰り返し行項目	p1	金額集計	集計値	合計
フッター行項目		なし	なし	追加

- ⑨ [追加した変数]の表に追加された変数を用いて、集計を算出する数式を指定します。

追加した変数	変数名	項目	集計する値項目	合計
	p1	金額集計	集計値	合計

数式 (resultValue)

```
return p1;
```

ex) return p1;

- ⑩ [結果表示形式]を設定します。

ex) return p1;

結果表示形式
(アイテム更新時に反映)

☒ 標準結果表示設定

小数点以下行数:

パーセンテージで表示:(例:50%) ☐ はい ☒ いいえ

カンマ区切りで表示: ☒ はい ☐ いいえ

先頭文字: ☒ 値がマイナスだった場合、[-]の後に表示

末尾文字:

マイナス時に赤字表示: ☐ はい ☒ いいえ

☐ カスタム結果表示設定(return 値として HTML を返す)

結果を指定の列に設定

⑪ [保存]ボタンをクリックし、設定を完了させます。

⑫ 続いて、[消費税]を以下のように設定します。

集計設定

タイトル *

変数設定

変数名	項目	集計する値項目	合計
ヘッダー行項目	なし	なし	なし
繰り返し行項目	なし	なし	なし
フッター行項目	なし	なし	なし

追加された変数

変数名	項目	集計する値項目	合計
p1	金額集計	集計値	合計

数式
(resultValue)

ex) return p1;

結果表示形式
(アイテム更新時に反映)

☒ 標準結果表示設定

小数点以下行数:

パーセンテージで表示:(例:50%) ☐ はい ☒ いいえ

カンマ区切りで表示: ☒ はい ☐ いいえ

先頭文字: ☒ 値がマイナスの場合、[-]の後に表示

末尾文字:

マイナス時に赤字表示: ☐ はい ☒ いいえ

☐ カスタム結果表示設定(return 値として HTML を返す)

結果を指定の列に設定

保存 キャンセル

⑬ [合計]を設定します。

[タイトル]、[変数設定]、[数式]、[結果表示形式]をそれぞれ指定します。

集計設定

タイトル * 合計

変数設定

変数名	項目	集計する値項目	合計
ヘッダー行項目	なし	なし	
繰り返し行項目	なし	なし	なし
フッター行項目	なし	なし	

追加された変数

変数名	項目	集計する値項目	合計
p1	小計	集計値	
p2	消費税	集計値	

数式 (resultValue)

return p1+p2;

ex) return p1;

結果表示形式 (アイテム更新時に反映)

☒ 標準結果表示設定

小数点以下行数: 自動

パーセンテージで表示:(例:50%) ☐ はい ☒ いいえ

カンマ区切りで表示: ☒ はい ☐ いいえ

先頭文字: ¥ ☒ 値がマイナスの場合、[-]の後に表示

末尾文字:

マイナス時に赤字表示: ☒ はい ☐ いいえ

☐ カスタム結果表示設定(return 値として HTML を返す)

結果を指定の列に設定 合計(税込)

- ⑭ 最後に、[結果を指定の列に指定]で「合計(税込)」を選択し、各フォームでの表示状態を指定します。

結果を指定の列に設定 合計(税込)

指定したフィールドの各フォームでの表示状態

表示フォーム 表示

新規フォーム 非表示

編集フォーム 編集不可

保存 キャンセル

9. リスト フィールド デザイナー設定画面の[保存]ボタンをクリックします。

10. リストを開きます。

[内訳]列が繰り返し列に変更されます。

新しいアイテムまたはこのリストを編集

すべてのアイテム アイテムの検索...

タイトル	内訳	合計(税込)																		
T-0251N	<table border="1"> <thead> <tr> <th>商品</th> <th>個数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カテゴリ3 商品B</td> <td>3</td> <td>¥6,000</td> </tr> <tr> <td>カテゴリ1 商品D</td> <td>6</td> <td>¥15,000</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td>¥21,000</td> </tr> <tr> <td>消費税</td> <td></td> <td>¥1,680</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>¥22,680</td> </tr> </tbody> </table>	商品	個数	金額	カテゴリ3 商品B	3	¥6,000	カテゴリ1 商品D	6	¥15,000	小計		¥21,000	消費税		¥1,680	合計		¥22,680	¥22,680
商品	個数	金額																		
カテゴリ3 商品B	3	¥6,000																		
カテゴリ1 商品D	6	¥15,000																		
小計		¥21,000																		
消費税		¥1,680																		
合計		¥22,680																		

11. 新規フォームでは、「合計(税込)」列は表示されません。

タイトル *			
内訳	商品	個数	金額
	カテゴリ1 ▼ 商品D ▼		¥0 x / +
	小計		¥0
	消費税		¥0
	合計		¥0
		保存	キャンセル

12. 編集フォームでは「合計(税込)」列は編集不可となります。

タイトル *	T-0251N		
合計(税込)	22680		
内訳	商品	個数	金額
	カテゴリ3 ▼ 商品B ▼	3	¥6,000 x / +
	カテゴリ1 ▼ 商品D ▼	6	¥15,000 x / +
	小計		¥21,000
	消費税		¥1,680
		合計	¥22,680
作成日時 2014/04/25 15:18 作成者 システム アカウント 最終更新日時 2014/05/21 17:19 更新者 システム アカウント			
		保存	キャンセル

選択肢系列の表示変更の設定手順例

たとえば、下図のような選択肢を設定しようとしています。

今回は以下の設定を行います。

- ・ 単一選択肢をチェックボックスで表示
- ・ チェックボックスを、横に2つずつ並べて表示
- ・ チェックボックスのテキストの色を変更

タイトル *		
色選択	☐ 赤色	☐ 紫色
	☐ 青色	☐ 緑色
		保存 キャンセル

設定手順は以下の通りです。

1. リストに選択肢列を追加します。
列の作成画面で、「色選択」列を作成します。
[名前と種類]では、[選択肢]を指定し、選択肢に任意の値を設定します。

(リストの列で指定した選択肢は、使用しないため任意の値で問題ありません。)

2. [SP 改]リスト フィールド デザイナー設定画面を開き、リスト フィールド デザイナー機能を有効にします。
3. [選択肢系列の表示変更]で「色選択」列の表示変更を有効にします。
「色選択」列の「このフィールドで表示変更を有効にする」チェックボックスをオンにします。
4. 「表示名」と「値」で異なる選択肢を有効にします。
「「表示名」と「値」で異なる選択肢を指定」チェックボックスをオンにします。

5. 「表示名」と「値」を設定します。
「選択肢を設定」リンクをクリックして、「選択肢設定」ダイアログを開きます。

以下の値を入力して「保存」ボタンをクリックします。

表示名	値
 赤色 	red
 紫色 	purple
 青色 	blue
 緑色 	green

6. 選択肢の表示形式を指定します。
「チェックボックス(単一選択)」をオンにします。

選択肢を設定

選択肢の表示形式を設定してください。

☐ ドロップダウン (単一選択)
☐ ラジオボタン (単一選択)
☒ **チェックボックス (単一選択)**

ラジオボタン、チェックボックスのレイアウト設定

横に並べる数:

7. 横に並べる数を指定します。
「横に並べる数」に 2 を指定します。

選択肢を設定

選択肢の表示形式を設定してください。

☐ ドロップダウン (単一選択)
☐ ラジオボタン (単一選択)
☒ チェックボックス (単一選択)

ラジオボタン、チェックボックスのレイアウト設定

横に並べる数:

8. リスト フィールド デザイナー設定画面の[保存]ボタンをクリックします。
9. リストを開きます。
ビューや表示フォームでは選択された文字が指定した色で表示されます。

(+) 新しいアイテムまたはこのリストを編集

すべてのアイテム

✓	タイトル	色選択
	○○○	... 紫色
	△△△	... 緑色

10. 新規フォームでは、選択肢はチェックボックスで表示され、各選択肢の表示名は手順 5.の選択肢設定で指定した形式で表示されます。

タイトル *

色選択

☐ 赤色 ☐ 紫色
☐ 青色 ☐ 緑色

参照系列の設定手順例

たとえば、下図のような参照を設定しようとしています。

今回は以下の設定を行います。

- ・ 連動して表示(カスケード表示)
- ・ 並べ替えして表示
- ・ フィルターして表示

設定手順は以下の通りです。

◆ 前準備

1. 「食品分類マスター」リストを作成します。

✓ 分類	表示順	削除フラグ
肉	...	1 いいえ
野菜	...	2 いいえ
果物	...	3 いいえ
飲み物	...	4 いいえ
その他	...	5 はい

以下の列を追加設定します。

列表示名	列内部名	種類
分類	Title	1 行テキスト

表示順	SortNum	数値
削除フラグ	DeleteFlag	はい/いいえ 既定値:いいえ

以下のアイテムを追加します。

分類	表示順	削除フラグ
肉	1	いいえ
野菜	2	いいえ
果物	3	いいえ
飲み物	4	いいえ
その他	5	はい

2. 「食品商品マスター」リストを作成します。

食品商品マスター

⊕ 新しいアイテムまたはこのリストを編集

すべてのアイテム

✓	商品	分類	表示順	削除フラグ
	牛肉	...	肉 1	いいえ
	豚肉	...	肉 2	いいえ
	鶏肉	...	肉 3	いいえ
	人参	...	野菜 4	いいえ
	玉ねぎ	...	野菜 5	いいえ
	じゃがいも	...	野菜 6	いいえ
	ピーマン	...	野菜 7	いいえ
	りんご	...	果物 8	いいえ
	バナナ	...	果物 9	いいえ
	みかん	...	果物 10	いいえ
	いちご	...	果物 11	いいえ
	牛乳	...	飲み物 12	いいえ
	コーヒー	...	飲み物 13	いいえ
	紅茶	...	飲み物 14	いいえ

以下の列を追加設定します。

列表示名	列内部名	種類
商品	Title	1行テキスト
分類	FoodCategory	参照 情報の取得先: 食品分類マスター この列: 分類
表示順	SortNum	数値
削除フラグ	DeleteFlag	はい/いいえ 既定値: いいえ

以下のアイテムを追加します。

商品	分類	表示順	削除フラグ
牛肉	肉	1	いいえ
豚肉	肉	2	いいえ
鶏肉	肉	3	いいえ
人参	野菜	4	いいえ
玉ねぎ	野菜	5	いいえ
じゃがいも	野菜	6	いいえ
ピーマン	野菜	7	いいえ
りんご	果物	8	いいえ
バナナ	果物	9	いいえ
みかん	果物	10	いいえ
いちご	果物	11	いいえ
牛乳	飲み物	12	いいえ
コーヒー	飲み物	13	いいえ
紅茶	飲み物	14	いいえ

◆ 参照列設定

1. リストに「食品分類」参照列を追加します。

列の作成画面で、「食品分類」列を作成します。

情報の取得先: 食品分類マスター

この列: 分類

※食品分類マスターを別のサイトに作成した場合は、情報の取得先は既定値のまま列を作成してください。

2. リストに「食品商品」参照列を追加します。

列の作成画面で、「食品 商品」列を作成します。

情報の取得先: 食品 商品マスター

この列: 商品

※食品 商品マスターを別のサイトに作成した場合は、情報の取得先は既定値のまま列を作成してください。

3. [SP 改]リスト フィールド デザイナー設定画面を開き、リスト フィールド デザイナー機能を有効にします。

4. [参照系列の設定]で「食品分類」列の設定を有効にします。

「食品分類」列の「このフィールドの設定変更を有効にする」チェックボックスをオンにします。

5. 参照先サイト、リスト、列を設定します。

サイト選択: 食品分類マスターリストを作成したサイト

参照リスト(ライブラリ): 食品分類マスター

対象の列: 分類(Title)

※同一サイトに食品分類マスターリストを作成していた場合、変更する必要はありません。

食品分類

☒ このフィールドの設定変更を有効にする

サイト選択: SubSite1

参照リスト(ライブラリ): 食品分類マスター

対象の列: 分類 (Title)

その他取得列

☐ 分類 (LinkTitleNoMenu)

☐ 分類 (LinkTitle)

☐ 表示順 (SortNum)

☐ 削除フラグ (DeleteFlag)

☐ コンテンツ タイプ (ContentType)

☐ 更新日時 (Modified)

☐ 登録日時 (Created)

☐ 作成者 (Author)

参照リストアクセスアカウント

☐ システム アカウントで参照リストにアクセス

※並べ替え/フィルターを行っても 5,000件以上のアイテムに対応します。

連動

☒ 連動しない

☐ 他の選択肢と連動

並べ替え

☒ 昇順でアイテムを表示する

※ 今回は、[その他取得列]、[参照リストアクセスアカウント]は使用しないため、チェックはすべて OFF です。

※ 「食品部類」列は、連動の親側なため連動の設定は行いません。連動は、子側の「食品 商品」列で行います。

6. 並べ替えの設定をします。

[並べ替え]の[並べ替えする]ラジオボタンをオンにします。

最優先する列: 表示順(SortNum)

[昇順でアイテムを表示する]: オン

並べ替え

☐ 並べ替えない
☒ 並べ替える
 最優先する列
 表示順 (SortNum)

☒ 昇順でアイテムを表示する(A、B、C、または 1、2、3)
☐ 降順でアイテムを表示する(C、B、A、または 3、2、1)

フィルター

7. フィルターの設定をします。

[フィルター]の[次の条件に該当するアイテム]ラジオボタンをオンにします。

列: 削除フラグ>DeleteFlag)

演算子: 次の値に等しい

値: いいえ

フィルター

☐ すべてのアイテム
☒ 次の条件に該当するアイテム
 次の条件のとき、アイテムを表示する
 削除フラグ (DeleteFlag)

次の値に等しい

いいえ

☒ AND ☐ OR

8. [参照系列の設定]で「食品商品」列の設定を有効にします。

「食品商品」列の「このフィールドの設定変更を有効にする」チェックボックスをオンにします。

9. 参照先サイト、リスト、列、その他取得列を設定します。

サイト選択: 食品商品マスターリストを作成したサイト

参照リスト(ライブラリ): 食品商品マスター

対象の列: 商品(Title)

その他取得列: 分類(FoodCategory)をオン

※同一サイトに食品商品マスターリストを作成していた場合、変更する必要はありません。

☒ このフィールドの設定変更を有効にする

サイト選択: SubSite1
 参照リスト(ライブラリ): 食品商品マスター
 対象の列: 商品 (Title)

その他取得列:
 ☐ 商品 (LinkTitleNoMenu)
☐ 商品 (LinkTitle)
☒ 分類 (FoodCategory)
☐ 表示順 (SortNum)
☐ 削除フラグ (DeleteFlag)
☐ コンテンツタイプ (ContentType)
☐ 更新日時 (Modified)
☐ 登録日時 (Created)

参照リストアクセスアカウント: ☐ システムアカウントで参照リストにアクセス
 ※並べ替え/フィルターを行っても 5,000件以上のアイテムに対応します。

※今回は、[参照リストアクセスアカウント]は使用しないため、チェックはすべて OFF です。

10. 連動の設定をします。

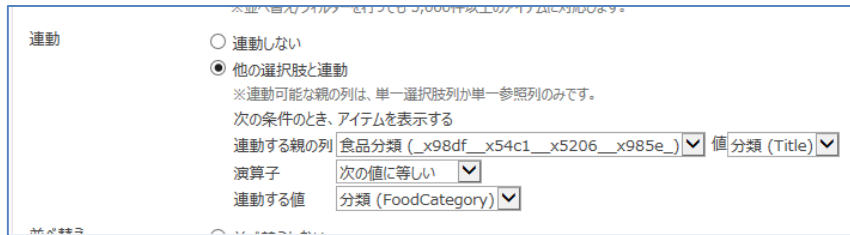
[連動]の[他の選択肢と連動]ラジオボタンをオンにします。

連動する親の列: 食品分類

値: 分類(Title)

演算子: 次の値に等しい

連動する値: 分類(FoodCategory)

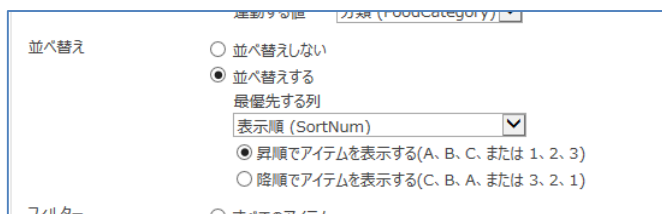


11. 並べ替えの設定をします。

[並べ替え]の[並べ替える]ラジオボタンをオンにします。

最優先する列: 表示順(SortNum)

[昇順でアイテムを表示する]: オン



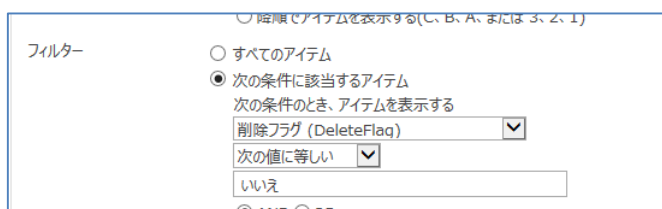
12. フィルターの設定をします。

[フィルター]の[次の条件に該当するアイテム]ラジオボタンをオンにします。

列: 削除フラグ(DeleteFlag)

演算子: 次の値に等しい

値: いいえ



13. [保存]ボタンをクリックします。

14. リストを開きます。

⊕ 新しいアイテムまたはこのリストを編集

すべてのアイテム

✓	タイトル	食品分類	食品商品
○○○	...	野菜	じゃがいも
△△△	...	野菜	人参

15. 新規フォームや編集フォームでは、[食品分類]ドロップダウンで選択した値で絞り込みを行い、[食品商品]ドロップダウンの選択肢を表示します。

カテゴリ *

食品分類 野菜 ▼

食品商品

(なし)

人参

玉ねぎ

じゃがいも

ピーマン

保存 キャンセル

繰り返し列のスタイル設定について

リスト フィールド デザイナー設定では、繰り返し列の設定を有効にした列のスタイルを設定することができます。ここではスタイル設定方法について紹介します。

1. スタイルシート(CSS ファイル)を作成します。
スタイルシートのコードは、lfdnormalformgray.css を参考にしてください。
ここでは、lfdnormalformgray.css をメモ帳で開き、下記の赤字部分を変更または追加します。

```
.ffd-repeatrowtable{
  margin: 1px;
  border-collapse: collapse;
  border-spacing: 1px;
}
.ffd_footer,
.ffd_header {
  border: 1px solid #ddd;
  padding-left: 3px;
  padding-right: 3px;
}
```

```
padding-top:2px;
padding-bottom:2px;
background-color: #feedf3;
white-space: nowrap;
}

.ffd_repeatrow {
border: 1px solid #ddd;
padding-left: 3px;
padding-right: 3px;
}

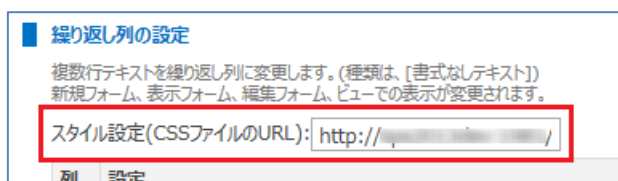
.ffd_textbox {
}

.ffd_select {
}

.ffd_repatarea{
border: 1px solid #ddd;
text-align:center;
width: 50px;
}

.rowTool{
cursor:pointer;
}
```

2. 任意の名前を付け保存します。
3. 作成した CSS ファイルを任意のドキュメントに保存します。
4. リスト フィールド デザイナー設定画面を開きます。
5. [繰り返し列の設定]の[スタイル設定(CSSファイルのURL):]のテキストに3 で保存したCSSファイルのURLを指定します。



6. [保存]ボタンをクリックします。
7. リストを開くと、複数行テキストのフィールドが設定したスタイルで表示されます。

④ 新規アイテムまたはこのリストを編集

すべてのアイテム ... アイテムの検索...

✓ タイトル 内訳

T-0251N 緑 ...

商品	個数	金額
カテゴリ3 商品B	3	¥6,000
カテゴリ1 商品D	6	¥15,000
小計		¥21,000
消費税		¥1,680
合計		22,680

※ 同ページに違うスタイルを指定したリストを貼りつけた場合、そのページではどちらか一方のスタイルで表示されます。

リスト フィールド デザイナーをエクスポート

設定したリスト フィールド デザイナーをエクスポートする手順は以下のとおりです。

1. リスト フィールド デザイナー設定画面を開き、リストのフィールド動作の設定をします。

■ 数値系列の表示変更
表示フォームとビューでの表示が変更されます。

列	設定
合計(税込)	☐ このフィールドの値がマイナス値の場合、赤字で表示 ☐ このフィールドの値がマイナス値の場合、▲で表示 ☒ このフィールドの値がマイナス値の場合、マイナス(-)で表示 ☒ このフィールドの値をカンマ(,)で区切って表示

■ ユーザー列の表示変更
表示フォームとビューでの表示が変更されます。
ユーザー列の表示を変更します。(ユーザーのみが選択されている場合に限り。)
指定されたライブラリ上のアイコン(アイコン名)が表示されます。
例えば、ユーザーアカウントに対応したアイコン画像を表示したい場合に使用します。

列	設定
印鑑	☒ このフィールドで表示変更を有効にする サイト選択: サブサイト ライブラリ選択: ドキュメント 画像ファイル拡張子選択: .PNG 画像が存在しない場合: ☒ 空白で表示 ☐ ユーザー名で表示 ☐ 指定の画像で表示(画像のURLを指定)

■ 繰り返し列の設定
複数行テキストを繰り返し列に変更します。(標準は、(書式なし)テキスト)
新規フォーム、表示フォーム、編集フォーム、ビューでの表示が変更されます。
スタイル設定(CSSファイルのURL):

列	設定
	☒ このフィールドで繰り返し列を有効にする 結合 横に分割 縦に分割 ヘッダー設定

2. [エクスポート]ボタンをクリックします。

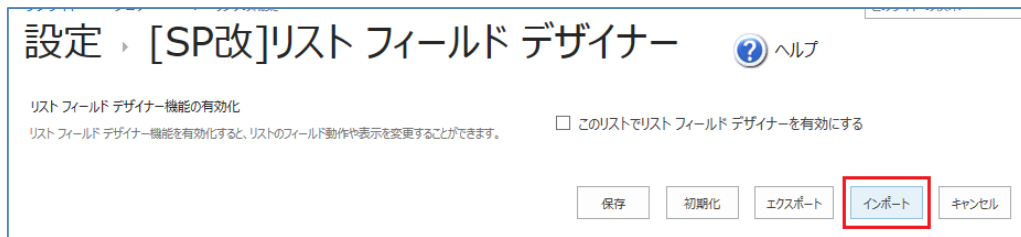
3. ブラウザの下部に表示されたウィンドウの[保存]ボタンをクリックします。
エクスポートしたファイル名は「ListFieldDesignerSetting.1.0.0.0.xml」です。

※ 任意の名前で保存したい場合は、下向き三角の部分をクリックし[名前をつけて保存]を選択し、表示されたダイアログボックスから保存してください。

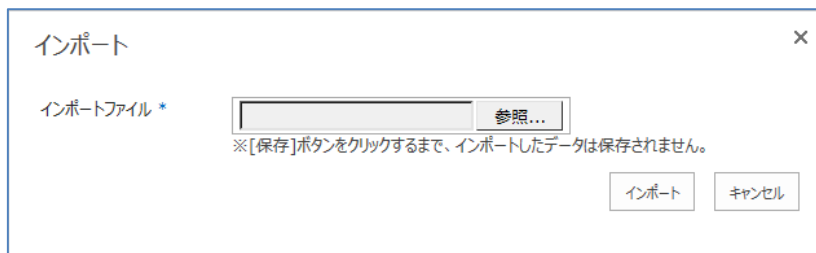
リスト フィールド デザイナーをインポート

リスト フィールド デザイナーをインポートする手順は以下のとおりです。

1. リスト フィールド デザイナー設定画面を開きます。
2. [インポート]ボタンをクリックします。



3. [インポート]ダイアログが表示されます。



- ✓ インポートファイル ...

インポートするフィールドデザイナーの XML ファイルを指定します。

XML ファイルの指定は、[参照...]ボタンをクリックし、[アップロードするファイルの選択]ダイアログから指定してください。

4. [インポート]ボタンをクリックすると、指定した XML ファイルを読み込み、リストのフィールド動作が設定されます。

数値系列の表示変更
表示フォームとビューでの表示が変更されます。

列	設定
合計(税込)	☐ このフィールドの値がマイナス値の場合、赤字で表示 ☐ このフィールドの値がマイナス値の場合、▲で表示 ☒ このフィールドの値がマイナス値の場合、マイナス(-)で表示 ☒ このフィールドの値をカンマ(,)で区切って表示

ユーザー系列の表示変更
表示フォームとビューでの表示が変更されます。
ユーザー系列の表示を変更します。((ユーザーのみ)が選択されている場合にのみ適用されます。)
指定されたライブラリ上のドメイン、アカウント名、拡張子画像が表示されます。
例えば、ユーザーアカウントに対応した印刷画像を表示したい場合に使用します。

列	設定
印鑑	☒ このフィールドで表示変更を有効にする サイト選択 サブサイト ライブラリ選択 ドキュメント 画像ファイル拡張子選択 PNG 画像が存在しない場合 ☒ 空白で表示 ☐ ユーザー名で表示 ☐ 指定の画像で表示(画像のURLを指定)

繰り返し列の設定
複数行テキストを繰り返し列に変更します。(標準は、(書式なし)テキスト)
新規フォーム、表示フォーム、編集フォーム、ビューでの表示が変更されます。
スタイル設定(CSSファイルのURL):

列	設定
	☒ このフィールドで繰り返し列を有効にする 結合 横に分割 縦に分割 ヘッダー設定

5. [保存]ボタンをクリックします。

※ インポート後、必ず各設定情報が反映されているか確認し、[保存]ボタンをクリックしてください。

インポート時の制限事項

インポートする際、内部名が同じフィールドの設定情報のみ継承されます。そのため、表示名が同じでも内部名が異なるフィールドの設定情報は継承されません。

また、インポート先となるリストにフィールドが存在しなくても集計設定は反映されます。そのため、インポート後、各設定などを確認し、必要のない設定は削除してください。

異なる Web アプリケーションまたはサイトコレクションにインポートした場合

異なるサイトコレクションにインポートした場合、以下の設定情報は継承されません。

- ユーザー系列の表示変更
 - サイト選択
 - ライブラリ選択
- 繰り返し列の設定
 - 参照ドロップダウン設定
 - ✓ 参照サイト
 - ✓ 参照リスト
 - ✓ 表示フィールド

- ✓ その他取得フィールド
- ✓ 連動のアイテムと条件
- ✓ 並べ替えの優先する列
- ✓ フィルターのアイテムと条件

- 参照系列の設定
 - サイト選択
 - 参照リスト(ライブラリ)

そのため、インポート後、各設定画面を表示し、各項目を変更してください。

リストテンプレート

リスト フィールド デザイナーで設定した情報は、リストのテンプレートの作成、および、リストテンプレートからのリスト作成の際、継承されます。

しかし、リストを作成した状態ではまだフィールドデザイナー機能は有効になっていません。そのため、

リスト フィールド デザイナー設定画面を開き、設定情報を保存する必要があります。

リストテンプレートから作成したリストのフィールドデザイナーの設定情報を反映にする手順は以下のとおりです。

1. リストテンプレートを作成します。
リストのテンプレートは、設定画面で[権限と管理]の[リストをテンプレートとして保存]をクリックし、表示された、[テンプレートとして保存]画面で行います。
2. 保存したリストテンプレートを使って新たにリストを作成します。
3. 2 で作成したリストの設定で、リスト フィールド デザイナー設定画面を開きます。
設定画面を表示すると、リストテンプレート作成時に継承されたリスト フィールド デザイナーの設定情報が表示されています。
4. [保存]ボタンをクリックします。
これにより継承されたリスト フィールド デザイナーの設定情報は反映されます。

※ リストテンプレートから作成したリストは、最初に必ずリスト フィールド デザイナー設定画面を開き、
[保存] ボタンをクリックしてください。

制 限 事 項

リスト フィールド デザイナー機能は、以下に対応しています。

- 日本語のみ

以下のリスト(ライブラリ)は、リスト フィールド デザイナー機能サポート対象外です。

- ドキュメントライブラリ
- データ接続ライブラリ
- フォームライブラリ
- レポートライブラリ
- Wiki ページライブラリ
- メディアライブラリ
- 画像ライブラリ
- アンケート
- 案件管理
- 予定表
- ディスカッション掲示板

カスタムフィールドタイプはサポート対象外です。

たとえば、Blog のカテゴリで使用されている列は、LookupMulti というカスタムフィールドタイプが使用されています。(通常の参照列の複数選択には対応しています。)

試用版について

試用版の場合、リスト フィールド デザイナー機能が有効になっているリストのアイテムの表示フォーム、新しいフォーム、編集フォームの閲覧記録列に、弊社 株式会社アソクスのロゴが表示されます。

以上